

|         |                                                                                       |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 氏名      | 久保義郎                                                                                  |
| 学位の種類   | 医学博士                                                                                  |
| 学位授与番号  | 博甲第 672 号                                                                             |
| 学位授与の日付 | 昭和 63 年 3 月 28 日                                                                      |
| 学位授与の要件 | 医学研究科外科系外科学Ⅱ専攻<br>(学位規則第 5 条第 1 項該当)                                                  |
| 学位論文題目  | 小口径人工血管移植に関する実験的研究<br>— heparinized fibrin sealing および血小板凝集抑制剤 Cilostazol 投与の効果について — |
| 論文審査委員  | 教授 折田薫三      教授 西本 詮      教授 栗井通泰                                                     |

### 学位論文内容の要旨

小口径人工血管の開存率を向上させるために、内径 4 mm の Dacron 人工血管をヘパリン加フィブリン糊による前処置法を用いて移植実験を行った。本法はフィブリン糊の効果にヘパリンの抗血栓性が加わり、移植後初期の血栓形成をおさえ、1 週目 100% (24/24)、4 週目 94% (17/18) と早期開存率の著明な改善が得られた。しかし、長期観察においては閉塞例もみられ 12 週目では 27% (3/11) しか開存していなかった。そこで、移植後の人工血管内膜肥厚による晩期閉塞を予防する目的で、血小板凝集抑制剤シロスタゾール (100mg/kg/day) を毎日経口投与した。その結果、投与群では移植後 12 週目でも 67% (4/6) の良好な開存率が得られ、シロスタゾールは抗血栓作用と強い血小板凝集抑制作用を有することが証明された。heparinized fibrin sealing 操作および術後シロスタゾール投与の併用は、小口径人工血管移植において長期開存も望め、有用な付加療法となり得ると考えられる。

### 論文審査の結果の要旨

人工血管移植後の初期血栓形成予防のために、ヘパリン加フィブリン糊を coating する方法があるが、内径 4 mm、長さ 5 cm の小口径人工血管 (dacron) を同上にて coating して移植し、詳細に検討した初の論文である。犬の頸動脈、大腿動脈に移植し経過的に走査電顕などで follow している。ヘパリン加フィブリン糊の前処理により初期の血栓形成が防止され、さらに血小板凝集抑制剤シロスタゾールの内服で晩期 (12 週目) の開存率も有意に高く、臨床上極めて大切な知見をえている。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。